

主題名	友達への思いやり		B年度 12月
資料名	ぐみの木と小とり	出典	2年生の道徳(文溪堂)
学習指導要領「内容」	内容項目2-(2)身近にいる人や高齢者に温かい心で接し、親切にする。		
ねらい	困っている人や弱い立場の人を思いやり、温かい心で接し、進んで親切にしようとする態度を養う。		

	学習活動(主な発問と児童の予想される反応)	指導上の留意点
導入	資料への導入 資料に出てくる用語の補足をする ぐみの木	
展開前段	<p>1, 資料を読んで話し合う。 登場人物を確かめる。</p> <p>① ぐみの木からりすのことを聞いた小とりは、どんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ぐみの木は、りすのことを心配しているのだな。 りすは、病気やけがをしているのじゃないかな。 りすは、お腹が空いて困っているのじゃないかな。 <p>② 病気で寝ているりすを見て、小とりはどんなことを思ったでしょう。また、次の日も来ることを約束したのは何故でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> りすは困っているのだな。 ぼくにできることはないかな。 <p>③ <u>あらしの中をりすの家に向かって飛んでいく小とりは、どんなことを思ったでしょう。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ぼくが届けなければ、りすさんは困ってしまうだろうな。 約束したのだから、行かなくては。 <p><問い返し>この時、小とりはりすさんのことをどう思っているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ぐみの木さんにたのまれたから仕方がない。 危険だから行くのを止めようかな。 昨日行ったのだから、止めようかな。 <p>④ 喜びりすを見て、小とりはどんな気持ちになったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 嬉んでもらえてうれしいな。 嵐の中を飛んで来たから、心配していたんだな。 ぐみの木さんも安心しただろうな。 <p>小とりとりすになって、役割演技をしてみましよう。 <補助発問>お友達の小とり役を見て、自分の考えている小とりと同じ所、違う所を見つけましよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物をとらえる。 登場人物の気持ちを考えながら聞くようにする。 自分たちの周りには、自分たちのことを心配している人がいることに気づかせる。 ぐみの木と小とりの会話を想像させ、二人のやさしさに触れさせる。 一人で困っているりすの立場や気持ちを十分にとらえて考えさせることによって、親切にしようとすることの大切さを実感させる。 役割演技により、親切にされて喜ぶりすを見た小とりの気持ちを考え、親切な行為が意義あることに気づかせる。 自由な会話を通しながら、親切にすることの成就感を味わわせたい。 自分は今まで親切にしたり、されたりしたことを思い起こし、自己を見つめさせる。 親切にした方も、された方も、互いに温かい気持ちになり、人間関係を和やかなものにしていけることの大切さに気づかせたい。
後段	<p>2, 今までの生活を振り返り、話し合う。</p> <p>① 今までに、親切にしたり、されたりしたことを思い出して、その時の気持ちも考えてましよう。</p>	
終末	<p>3, 教師の説話</p>	

